

## 2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス  
 コード番号 4928 URL <https://www.noevirholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒添 正司 (TEL) 078-303-5121  
 定時株主総会開催予定日 2020年12月4日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月4日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	51,841	△12.5	8,060	△32.8	8,242	△32.7	5,618	△22.3
2019年9月期	59,252	2.5	11,992	5.7	12,247	5.8	7,226	△7.9

(注) 包括利益 2020年9月期 6,151百万円(△13.6%) 2019年9月期 7,120百万円(△11.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	164.48	—	10.7	10.1	15.5
2019年9月期	211.57	—	13.8	14.7	20.2

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 一百万円 2019年9月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	80,052	52,243	64.9	1,521.77
2019年9月期	83,330	52,946	63.3	1,543.72

(参考) 自己資本 2020年9月期 51,978百万円 2019年9月期 52,728百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	7,312	△1,615	△6,962	29,199
2019年9月期	10,191	△2,067	△6,287	30,448

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	200.00	200.00	6,831	94.5	13.1
2020年9月期	—	0.00	—	205.00	205.00	7,002	124.6	13.4
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	205.00	205.00		111.1	

### 3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,500	△8.2	4,000	△21.1	4,100	△20.2	1,900	△20.8	55.63
通期	52,500	1.3	9,000	11.7	9,200	11.6	6,300	12.1	184.45

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	34,156,623株	2019年9月期	34,156,623株
② 期末自己株式数	2020年9月期	104株	2019年9月期	56株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	34,156,562株	2019年9月期	34,156,567株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる数式については、添付資料16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略 .....	5
(2) 目標とする経営目標 .....	5
(3) 会社の対処すべき課題 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(追加情報) .....	13
(連結貸借対照表関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

《概況》

	2019年9月期		2020年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	59,252	100.0	51,841	100.0	△7,411	△12.5
化粧品事業	45,175	76.2	38,742	74.7	△6,432	△14.2
医薬・食品事業	12,036	20.3	11,273	21.8	△763	△6.3
その他の事業	2,041	3.5	1,825	3.5	△215	△10.5

	2019年9月期		2020年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	11,992	20.2	8,060	15.5	△3,931	△32.8
経常利益	12,247	20.7	8,242	15.9	△4,005	△32.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,226	12.2	5,618	10.8	△1,608	△22.3

当連結会計年度（2019年10月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み緩やかな回復を続けていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、景気の動向はより一層不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業を展開する国内外の市場においては、消費者の多様な潜在需要が見込まれる一方で、消費増税の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高51,841百万円（前期比12.5%減）、営業利益8,060百万円（同32.8%減）、経常利益8,242百万円（同32.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5,618百万円（同22.3%減）となりました。

《セグメント別の状況》

(a)化粧品事業

	2019年9月期 (百万円)	2020年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	45,175	38,742	△6,432	△14.2
セグメント利益	13,183	9,505	△3,678	△27.9

化粧品事業は、売上高38,742百万円（前期比14.2%減）、セグメント利益9,505百万円（同27.9%減）となりました。

カウンセリング化粧品及びセルフ化粧品の売上は、消費増税や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、低調に推移しました。

(b) 医薬・食品事業

	2019年9月期 (百万円)	2020年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	12,036	11,273	△763	△6.3
セグメント利益	1,312	1,261	△50	△3.8

医薬・食品事業は、売上高11,273百万円（前期比6.3%減）、セグメント利益1,261百万円（同3.8%減）となりました。

ドリンクの売上は、低調に推移しました。

栄養補助食品の売上は、堅調に推移しました。

(c) その他の事業

	2019年9月期 (百万円)	2020年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,041	1,825	△215	△10.5
セグメント利益	70	10	△60	△85.8

その他の事業は、売上高1,825百万円（前期比10.5%減）、セグメント利益10百万円（同85.8%減）となりました。

アパレル・ボディファッション関連及び航空関連の売上は、低調に推移しました。

(注) セグメント利益及び損失は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用調整前の金額であります。なお、当連結会計年度のセグメント利益の調整額の詳細につきましては14ページ及び15ページ「(セグメント情報) ③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 (注) 1」をご覧ください。

②次期の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を目指すことにより、2021年9月期の連結業績は、売上高525億円、営業利益90億円、経常利益92億円、親会社株主に帰属する当期純利益63億円を予想しております。

## (2) 財政状態に関する分析

### ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,277百万円減少し、80,052百万円となりました。主に、受取手形及び売掛金が1,598百万円、現金及び預金が1,283百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,574百万円減少し、27,809百万円となりました。主に、未払法人税等が1,040百万円、未払金が566百万円、支払手形及び買掛金が556百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ703百万円減少し、52,243百万円となりました。主に、前期末配当6,831百万円による減少と、親会社株主に帰属する当期純利益5,618百万円により、利益剰余金が1,213百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は64.9%、1株当たり純資産は1,521.77円となり、前連結会計年度末に比べて自己資本比率は1.7%の増加、1株当たり純資産は21.95円の減少となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末の30,448百万円に比べ1,249百万円減少し、29,199百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は7,312百万円（前期比2,879百万円の収入減）となりました。主に、税金等調整前当期純利益8,233百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は1,615百万円（前期比452百万円の支出減）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出1,635百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は6,962百万円（前期比674百万円の支出増）となりました。主に、配当金の支払6,827百万円によるものであります。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期
自己資本比率(%)	62.2	63.2	62.6	63.3	64.9
時価ベースの自己資本比率(%)	121.7	234.9	255.3	231.2	209.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3,280.3	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債（利子込み法によるリース債務を除く）を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と考えております。よって、中長期的な事業展開と経営体制の強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金は上記方針に則り、直近の配当予想から5円増配し、1株当たり普通配当205円といたします。

次期の配当金は、1株当たり普通配当年間205円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を達成するため、以下5つの方針を実行してまいります。

1. 日本市場でのイノベーションと持続的利益創出
2. ブランド価値の向上
3. 人材、組織の多様化加速
4. 研究開発・生産・物流の多様化加速による競争力強化
5. 変化に対応できる経営の推進

(2) 目標とする経営指標

当社グループでは、売上高、営業利益及び自己資本当期純利益率/ROEを重要な経営指標とし、企業価値の最大化と収益性の向上を実現してまいります。

(3) 会社の対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、当社グループの主要事業である化粧品、医薬・食品事業の市場における変化や多様化に対応するため、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を推し進めていくことが対処すべき課題と認識しております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較継続性や海外市場での資金調達必要性が低いこと等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,739	29,456
受取手形及び売掛金	10,827	9,229
商品及び製品	7,050	6,603
仕掛品	98	90
原材料及び貯蔵品	1,494	1,384
未収入金	3,309	3,032
その他	537	638
貸倒引当金	△36	△19
流動資産合計	54,021	50,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,946	5,628
機械装置及び運搬具（純額）	2,451	1,631
土地	13,713	13,920
リース資産（純額）	1,227	1,130
建設仮勘定	614	490
その他（純額）	261	221
有形固定資産合計	※1 23,213	※1 23,023
無形固定資産		
のれん	302	271
ソフトウェア	114	83
その他	78	75
無形固定資産合計	494	430
投資その他の資産		
投資有価証券	1,522	2,064
繰延税金資産	2,542	2,570
その他	1,567	1,569
貸倒引当金	△32	△22
投資その他の資産合計	5,600	6,181
固定資産合計	29,309	29,636
資産合計	83,330	80,052



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,704	2,148
リース債務	112	112
未払金	2,968	2,402
未払法人税等	2,150	1,109
賞与引当金	101	101
返品調整引当金	360	472
その他	1,237	1,233
流動負債合計	9,634	7,580
固定負債		
リース債務	1,217	1,112
長期預り保証金	13,371	12,894
繰延税金負債	469	596
退職給付に係る負債	5,315	5,250
その他	375	375
固定負債合計	20,749	20,229
負債合計	30,383	27,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	44,875	43,662
自己株式	△0	△0
株主資本合計	52,193	50,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	1,236
為替換算調整勘定	△218	△203
退職給付に係る調整累計額	△109	△35
その他の包括利益累計額合計	534	997
非支配株主持分	218	265
純資産合計	52,946	52,243
負債純資産合計	83,330	80,052

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	59,252	51,841
売上原価	21,039	18,760
売上総利益	38,213	33,081
販売費及び一般管理費		
販売促進費	4,648	4,000
広告宣伝費	1,293	1,202
給料手当及び賞与	6,387	6,265
賞与引当金繰入額	83	95
退職給付費用	521	569
減価償却費	1,219	1,129
研究開発費	1,097	1,065
その他	10,968	10,692
販売費及び一般管理費合計	26,220	25,020
営業利益	11,992	8,060
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	13	15
為替差益	—	2
保険配当金	83	52
その他	173	104
営業外収益合計	278	183
営業外費用		
為替差損	23	—
その他	0	1
営業外費用合計	23	1
経常利益	12,247	8,242
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除売却損	5	5
投資有価証券売却損	5	—
投資有価証券評価損	898	—
会員権評価損	—	3
退職給付制度終了損	311	—
特別損失合計	1,220	9
税金等調整前当期純利益	11,033	8,233
法人税、住民税及び事業税	3,751	2,650
法人税等調整額	△41	△98
法人税等合計	3,709	2,551
当期純利益	7,324	5,681
非支配株主に帰属する当期純利益	97	63
親会社株主に帰属する当期純利益	7,226	5,618

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	7,324	5,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	374
為替換算調整勘定	△137	20
退職給付に係る調整額	△13	74
その他の包括利益合計	△203	469
包括利益	7,120	6,151
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,040	6,081
非支配株主に係る包括利益	80	69

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	43,796	△0	51,115
当期変動額				
剰余金の配当		△6,148		△6,148
親会社株主に帰属する当期純利益		7,226		7,226
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	1,078	—	1,078
当期末残高	7,319	44,875	△0	52,193

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	913	△97	△95	720	162	51,998
当期変動額						
剰余金の配当						△6,148
親会社株主に帰属する当期純利益						7,226
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△52	△120	△13	△186	56	△130
当期変動額合計	△52	△120	△13	△186	56	947
当期末残高	861	△218	△109	534	218	52,946

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	44,875	△0	52,193
当期変動額				
剰余金の配当		△6,831		△6,831
親会社株主に帰属する当期純利益		5,618		5,618
自己株式の取得			△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	－	△1,213	△0	△1,213
当期末残高	7,319	43,662	△0	50,980

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	861	△218	△109	534	218	52,946
当期変動額						
剰余金の配当						△6,831
親会社株主に帰属する当期純利益						5,618
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	374	14	74	463	46	510
当期変動額合計	374	14	74	463	46	△703
当期末残高	1,236	△203	△35	997	265	52,243

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	11,033	8,233
減価償却費	1,808	1,668
のれん償却額	10	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	△27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△31	112
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△43	△64
受取利息及び受取配当金	△21	△23
為替差損益 (△は益)	2	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	898	—
固定資産除売却損益 (△は益)	3	5
会員権評価損	—	3
退職給付制度終了損	311	—
売上債権の増減額 (△は増加)	905	1,619
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△513	569
仕入債務の増減額 (△は減少)	△284	△562
預り保証金の増減額 (△は減少)	△503	△477
その他	△545	△290
小計	13,068	10,799
利息及び配当金の受取額	19	20
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,895	△3,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,191	7,312
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△170	△256
定期預金の払戻による収入	170	291
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	49	—
有形固定資産の取得による支出	△1,832	△1,635
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△24	△12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△263	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,067	△1,615
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△6,147	△6,827
非支配株主への配当金の支払額	△24	△22
リース債務の返済による支出	△115	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,287	△6,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,746	△1,249
現金及び現金同等物の期首残高	28,701	30,448
現金及び現金同等物の期末残高	30,448	29,199

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取保険金」は、金額的重要性が低下したため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取保険金」60百万円は、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような環境下では、当社グループにおきましても、翌連結会計年度以降の会計上の見積りに影響を及ぼす可能性があります。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	27,520百万円	28,510百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主として化粧品及び医薬品・食品の製造販売事業とアパレル・ボディファッション関連及び航空関連等のその他の事業を営んでおり、変化や多様化が進む市場環境に対応した戦略に基づく事業活動を行っております。

したがって、当社グループは、取り扱い商品を基礎とした事業別セグメントから構成されており、以下の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」は、化粧品及びトイレタリーの製造販売、化粧雑貨の仕入販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品及び食品の製造・仕入販売を行っております。

「その他の事業」は、アパレル・ボディファッション及び航空機・船舶の仕入販売、航空運送・操縦訓練事業、その他を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書(2019年12月5日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	45,175	12,036	2,041	59,252	—	59,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	180	180	△180	—
計	45,175	12,036	2,221	59,433	△180	59,252
セグメント利益	13,183	1,312	70	14,566	△2,574	11,992
セグメント資産	55,310	17,823	2,388	75,523	7,807	83,330
その他の項目						
減価償却費	1,266	557	44	1,868	△59	1,808
のれんの償却額	0	2	7	10	—	10
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,661	264	104	2,029	△35	1,994

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,574百万円の内訳は、セグメント間取引消去693百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,268百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去等によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	38,742	11,273	1,825	51,841	—	51,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	258	258	△258	—
計	38,742	11,273	2,084	52,100	△258	51,841
セグメント利益	9,505	1,261	10	10,777	△2,716	8,060
セグメント資産	53,553	16,249	2,498	72,302	7,750	80,052
その他の項目						
減価償却費	1,020	515	112	1,648	20	1,668
のれんの償却額	—	—	31	31	—	31
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,217	237	35	1,489	△33	1,456

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,716百万円の内訳は、セグメント間取引消去757百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,474百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去等によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	302	—	302

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	271	—	271

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	1,543.72円	1,521.77円
1株当たり当期純利益金額	211.57円	164.48円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	52,946	52,243
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	218	265
(うち非支配株主持分)	(218)	(265)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	52,728	51,978
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	34,156,567	34,156,519

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,226	5,618
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,226	5,618
普通株式の期中平均株式数(株)	34,156,567	34,156,562

(重要な後発事象)

該当事項はありません。